

香川大学 校友会会報

2021



創刊号



会長挨拶

笥 善行 YOSHIYUKI KAKEHI

香川大学校友会会長
香川大学長

京都府京都市出身。
京都大学大学院医学研究科博士課程修了(1989)
香川大学医学部附属病院副院長、
香川大学理事・副学長を経て、
2017年10月より現職。専門泌尿器科学。

香川大学校友会の皆様方には、日頃より本会の活動に対してご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

この度、校友会では、会員の皆様方への情報提供をより充実させるため、校友会会報誌を毎年発行することといたしました。この会報誌をご覧いただくことにより、これまで以上に校友会に関心をお持ちいただき、その活動を身近に感じていただければ幸いです。

校友会は、卒業生、在學生、保護者及び教職員等が、一丸となって母校である香川大学を支援していくことを目的に、2019年11月に設立した新しい団体です。その主な活動は、在學生に対する教育研究支援、課外活動支援、留学支援及び就職支援等ですが、今年度は、コロナ禍の中、経済的に困窮している学生に対する緊急支援、検温カメラシステム設置、PCR検査費用負担などの支援を実施しました。

今後とも、すべての学生が、学業継続を安定的に確保で

きるよう支援を継続していきたいと考えています。

現在、香川大学では、「持続可能な地方分散型社会の実現に貢献する人材の育成と研究の推進」というビジョンのもと、複雑化し予想困難な事象が次々と発生する現代社会の中で、未来のあるべき姿を、前例にとらわれず解決する方法を創出できる人材の育成を目指しております。まさにポストコロナ時代を生き抜くに相応しい人材の育成です。

このように、香川大学は、さらなる教育・研究等の向上を目指し、取り組んで参りますので、校友会の皆様方におかれましても、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、この会報誌が、会員の皆様と香川大学との架け橋となり、また、会員相互のより一層の親交を深める契機となることを願って、創刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

同窓会の歩み

- 又信会(高松高等商業学校)発足 1927年
- 香川大学発足(学芸学部・経済学部設置) 1949年
- 学芸学部同窓会発足(現松楠会) 1951年
- 池戸会発足 1955年 農学部設置
- 1973年 香川医科大学設置
- 1981年 法学部設置
- 讃樹会発足 1986年
- 1997年 工学部設置
- 緑晴会発足 2002年
- 2003年 香川医科大学と統合
- 2004年 国立大学法人香川大学発足 地域マネジメント研究科設置
- 木蓮会発足 2006年
- 香川大学同窓会連合会発足 2007年
- 地域マネジメント研究科同窓会発足 2011年
- 2018年 創造工学部設置
- 香川大学校友会発足(香川大学同窓会連合会を発展的解消) 2019年

大学の歩み

香川大学校友会とは

全学部・全研究科の卒業生・修了生・在學生と、役員及び教職員(現職・退職)が連携し、母校である香川大学を全学一丸となって支援するために、各学部・研究科の垣根を越えて設立された組織です。

ロゴマークについて

コンセプトは「学生の支援をする信頼のおける場所であり、各学部・研究科の垣根を越えた組織」です。校友会を支える人たちが向かい合っている様子を表現しました。体の部分を繋げることで「協力」や「親交・連携」を、大きさの違いで「校友会が支援を必要とする人を支える」ことを表しています。また、「新しいものを取り入れていく」という意味を込め、オレンジの丸が校友会に入り込んでいくような構成にしました。グリーンは「香川大学」、ブルーは「信頼」、オレンジは「新しいもの」を意味します。加えて、全体の形が笑顔にも見えるようにデザインしました。



2020年活動報告書



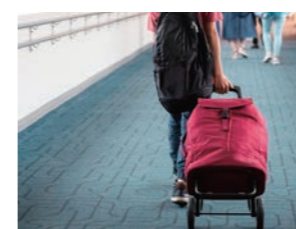
☑ 非接触型検温システムを寄贈しました

新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、非接触型検温システムを5台寄贈しました。設置場所は、学生会館2階にある学生生活支援センター入口と、各保健管理センター(幸町キャンパス、医学部分室、農学部分室、創造工学部分室)です。移動式なので、学内のイベント等にも利用しています。(2020年10月)



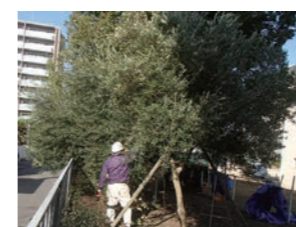
☑ 就職活動支援品を寄贈しました

キャリア支援センターでのオンラインによる就職相談に使用するため、ウェブカメラ、ヘッドセット、ワイヤレスマウスなどの必要品を寄贈しました。就職相談室3室に設置し、コロナ禍で来学できない学生との相談を行っています。(2020年10月)



☑ 海外留学支援を実施しました

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、留学先から緊急帰国した学生に対し、臨時的費用の支援をしました。本学が企画した留学プログラムなどで渡航していた4名の学生に対し、交通費、宿泊費及び授業料等の一部を支給しました。(2020年8月)



☑ 校内美化(除草工事)を実施しました

経済学部グラウンド・武道場周辺の課外活動関連施設の整備を行いました。昨年までは、学生・教職員の協力で除草等を実施していましたが、専門業者に委託することで、負担を軽減し、活動に専念できるよう環境を整備しました。今後も、毎年実施していく予定です。(2020年12月)



☑ 緊急学生支援金の給付を行いました

新型コロナウイルス感染拡大に伴い経済的に困窮している学生に対して、香川大学支援基金を通して給付しました。(2021年2月)



☑ PCR検査費用を支援しました

新型コロナウイルスの学内感染拡大を防止するため、PCR検査を希望する学生に対して、検査費用の全額を負担しました。対象は、県外移動歴のある学生のうち、実験・実習等の対面型授業に出席が必要であり、検査結果(陰性)の確認が必要な場合、その他特別な事由で検査が必要な場合等としました。(2021年2月)



☑ 校友会ロゴマークを制作しました

創造工学部造形・メディアデザインコースの授業で、48名の学生さんにロゴマークを制作していただきました。その中から、候補デザインを5点に絞り、検討の結果最終1点を決定しました。(2021年2月)

大学教員に聞いてみた

柔軟な発想で 新たな価値を生み出す

2018年にスタートした創造工学部の立ち上げのため、前年から本学に赴任してきました。以前から毎年正月に屋島のうどん店に行くことがわが家の恒例行事になっており、香川は個人的に親しみを感じています。

造形・メディアデザインコースは、本学が掲げるビジョンの下、現代美術を軸に、地域や社会の問題をデザインで解決していくための思考や能力を身に付け、新たな価値を創造できる学生を育てています。1・2年次の基礎教育では、デザイン思考に力を入れており、チームワーキング演習やフィジカル思考演習などチームを組みながら、物事を論理的に考える力をつける授業を行っています。3年からは専門分野に進み、内容もより実践的になります。デジタルグラフィックス演習では、漆工業組合様のチラシデザインや食品会社のパッケージデザイン、NPO法人のロゴマークを制作してきました。

授業のテーマは、作ったものが社会の中で使われることを重視しています。2020年度は、校友会から話をいただき、ロゴマークを制作しました。校友会の理念や趣旨を聞いた48人の学生が自分で解釈し、コンセプトを決めて取り組みました。個性あふれる48の作品の中から、表紙のロゴに決定しました。人の記憶に残るものを作るのはとても難しいことですので、学生もやりがいを感じていたと思います。ロゴマークは記憶と歴史に残るもの、いい機会を与えていただいたと感謝しています。

瀬戸内国際芸術祭や塩江のアートプロジェクトに参加し、地域文化や歴史を学びながら、これまでにない作品制作にも取り組んでいます。社会や地域のニーズに的確に反応し、還元できる

デザインを制作するには、柔軟な発想を持つことが大切で、新たな価値を生み出すこともできます。柔軟な発想を持った公務員が出てきたら、地域がもっと活性化しそうですね。



柴田 悠基 YUKI SHIBATA

創造工学部 創造工学科
造形・メディアデザインコース 講師

広島県福山市出身。2003年九州芸術工科大学卒業。東京藝術大学美術学部の助教を経て、2017年から現職。専門は現代美術、メディアアート。

卒業生に聞いてみた

「難しいことを楽しむ」を胸に 新天地で奮闘中

経 済学部がある幸町キャンパスはコンパクトで、高松市の中心地にあるので利便性が良く、過ごしやすかったです。入学して感じたことは、意外に岡山の人が多いことですね。経営システム学科では、経営戦略や組織論について学びました。経済学部の教授は優秀な方が多く、授業内容もとても有意義でした。ただ、高校は普通科でしたので、簿記は苦労しました。

大学生生活で一番の思い出はゼミと卒業論文です。関東や関西の大学との合同ゼミでは、いろいろな人のプレゼンを聞くことができ、刺激を受けました。論文では、「グローバルニッチトップ企業について」をテーマにしました。難しいテーマで悩みましたが、教授から「難しいことを楽しむ」と言われたことで、気持ちが楽になりました。地元企業の社長に経営戦略の話詳しく聞くことができ、現在の仕事にも活かしていると思います。就職活動中はキャリア支援センターにも大変お世話になりました。今後、校友会からの就職支援も期待できると思います。

旅行が好きで、在学中は夏休みなどを利用して国内を中心にいろいろな所に行きました。4年の夏休みには、大学の友人と青春18きっぷで日本を半周しました。高松から太平洋に沿って函館まで行き、日本海側から帰ってきました。他にも山口の角島や沖縄の波照間島の景色も印象に残っています。

2019年10月より高松商工会議所で働いております。やりたいことができる環境で、充実した日々を送っています。私が担当している業務は、会員企業の人材確保支援や無料職業紹介所の運営、合同就職説明会やセミナーの開催など、人材に関する支援を行っています。今の目標は、早く仕事を覚えて新しい企画を提案できるようになること。教授の言葉を胸に、難しい仕事も楽しんでやりたいと思います。



近藤 虹色 NIIRO KONDO

2014年経済学部卒 OB

今治市生まれ。3歳の時に親の転勤で香川へ。2019年10月に高松商工会議所に入所。現在は産業・人材課で企業の人材確保支援、合同就職説明会の開催などを担当。

PICK UP
又信会
に注目!

毎号各学部の同窓会に注目していきます!

同窓会 紹介



香川大学が、新型コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急学生支援金」給付のための寄附を募集しておりましてところ、又信会及び松楠会から、大学に多額の寄附がありました。

香川大学には学部ごとに同窓会が設けられ、現在は7団体が活動をしています。

法学部・経済学部 又信会 YUSHINKAI



又信会とは、会員相互の親睦を篤くし、かつ、母校との親密な連絡をはかり、その発展に寄与することを目的として組織された同窓会のことです。会員は経済学部、法学部、大学院（経済学研究科、法学研究科）、高松高等商業学校、高松経済専門学校、商業短期大学の卒業生から成り立っています。その活動は、会報『又信』及び『ニュース又信』を発行して母校と会員相互のコミュニケーションの推進を図るほか、会員相互の各種会合開催の支援活動、その他の関連業務を行っています。

教育学部 松楠会 SHONANKAI



教育学部とその前身校の卒業生及び教職員を中心として組織しています。会員相互の親睦をはかると共に教育振興の実をあげることを目的に、会報発行、青少年の健全育成のための支援事業、在校生の教育・諸活動の支援事業などを行っています。

創造工学部 緑晴会 RYOKUSEIKAI

工学部卒業生および同大学院研究科修士生を中心に組織しています。1997年に工学部が設置されてからの若い組織です。来年には創造工学部の卒業生も加わり、ますます豊かな人材も増え、活発な活動や事業を展開していきます。

農学部 池戸会 IKENOBKAI



池戸会の名称は農学部の所在地にちなんでいます。農学部卒業生および大学院研究科修士生を中心に組織しています。県内外に支部があり、定期的に総会や懇親会を行っています。また例年、学部長杯ソフトボール大会を共催しています。

医学科 讃樹會 SANJUKAI



香川大学（旧香川医科大学を含む）医学部医学科卒業生および、同大学院研究科修士生を中心に組織しており、会員相互の親睦と、その向上を図るとともに、母校の発展及び学術の振興に尽くすことを目的としています。

看護学科 木蓮会 MOKURENKAI



香川大学（旧香川医科大学を含む）医学部看護学科の卒業生を中心に組織しています。看護学科1期生が卒業時、植樹した白と紅紫の木蓮の花言葉に思いを込めて、在校生への国家試験応援や助産師希望者への奨学金、会報発行等を行っています。

地域マネジメント研究科同窓会

地域マネジメント研究科修士生を中心に組織しています。地元企業や自治体に勤めながらMBA資格を取得した社会人の修士生も多く、業種も年齢も様々な会員が相互に交流しています。

手品サークル メルシー笑クラブ

14名（男10人・女4人）
月・水・金（各3時間）活動

@merci_show_club

「お客さまを笑顔に」をモットーに学内外で活動している手品サークル「メルシー笑クラブ」。2004年に発足し、大学祭をはじめ小学校や幼稚園のボランティアなどで、練習で磨いた技を披露したり、バルーンアートでイベント会場を盛り上げています。

14人のメンバーは、教育学部棟の教室で週3回、マジック、ジャグリングに分かれて練習しています。個人練習が中心で、Youtube

を見たり、メンバー同士が教え合いながら、新しい技の習得にも力を入れています。

メンバーのほとんどが未経験者で、ジャグリングをしている代表の安倍有恒さんもその一人。「人前で技が成功したらうれしいですが、失敗してもお客さんが喜んでくれたら大丈夫」と笑いながら話してくれました。その名の通り、周りの人に感謝と笑顔を届けるサークルです。

手品サークル
メルシー
笑クラブ



誰かの幸せのきっかけに。



ボランティアで手品ショーを開催!



学内イベントでも活躍!

サークル部活動通信 vol.1



大会に向けて日々尽力!



みんななかよし少林寺拳法部。



少林寺拳法の発祥地香川県!

少林寺拳法部

少林寺拳法部

13名（男7人・女6人）
水・金・土（各2時間）活動

@udon_uni_ksc
@ksc_shorinjikempo

1969年創部の少林寺拳法部は、武道場で週3回、突きや蹴りなどの基本動作や剛法・柔法と呼ばれる技の練習、大会で披露する各種演武の練習に励んでいます。2020年は中四国学生冬季大会の組演武男子段外の部で優秀賞に選ばれたほか、過去には全日本学生大会でも受賞経験があり、中四国屈指の実力を誇ります。

13人の部員のうち半数以上が未経験者ですが、監督やコーチの優しい指導により2年で

黒帯（初段）になる人も。大学に入って空手から転向した主将の小林知暉さんも「技を身に付け、階級が上がっていくのが楽しい」と黒帯を目指しています。コロナ禍で十分な練習ができない環境でも、声を出さずに距離を取るなど工夫しています。

総本山での合宿や新年恒例のこびら参りなど、練習以外のイベントも盛りだくさん。年齢に関係なく続けられるのも魅力です。



香大生なじみのおみせ 阿部食堂

手作りにこだわったランチが人気で、香大生をはじめ、近くで働く人やご近所さんたちも足繁く通う阿部食堂。店主の阿部哲士さんは大阪の洋食店で修業し、14年前にこの店をオープンしました。人気No.1メニューはチキン南蛮。ジューシーな鶏肉とタルタルソースは相性抜群、しかもボリューム満点。欲張りな方は二つのメニューが楽しめるコンビセットもあります。テイクアウトも好評で、電話で予約すれば、来店時間に合わせて準備してくれます。店内は落ち着いた雰囲気、女性一人でもゆっくりと食事が楽しめます。

〒高松市扇町2丁目2-1幸ビル1階
☎087-851-0502
🕒11:00~15:00/18:00~21:00
(OS 20:00)



オーナーご夫婦の愛情がたっぷり、できたてほかほかの手作りお料理で、お腹も心も満たされる定食がいっぱい♡

医学部
田村純麗さん

● 会費納入のお願い

区分	正会員 卒業生及び修了生（過去に在学した者を含む）、 各学部同窓会会員、役員及び教職員（現職・退職）	準会員 在学生	賛助会員 個人・企業・団体 （目的に賛同いただける個人・法人等）
会費	20,000 円 (終身会費)	20,000 円 (終身会費※) (※在学中に準会員として会費を納めた方は、卒業後は正会員となり、改めて会費を納める必要はありません。)	10,000 円 (一口)

会員の皆さまからの会費を財源として支援事業を実施しています。
未納の方は、校友会事務局までご一報ください。専用の払込票をお送りいたします。

● 住所変更のご連絡について

校友会からの会報やイベント等の情報を確実にお手元にお届けするために、卒業等により住所等の連絡先を変更された場合には、必ず変更の登録をお願いします。

連絡はこちらから

香川大学校友会 会員情報変更

検索

<http://www.kagawa-u.ac.jp/koyukai/tourouku/>



● 個人情報の取り扱いについて

香川大学校友会では、個人情報について適切な方法で取得・管理しており、会報送付など校友会からのご連絡以外での利用は行いません。なお、利用目的の範囲内で、香川大学または各同窓会に、取得した個人情報を提供することがあります。

cover photo.



表紙写真は、2020年11月に開催された香川大学オンライン大学祭の様子です。

香川大学校友会

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1
香川大学校友会事務局

TEL087-832-1985

E-mail koyukai@kagawa-u.ac.jp

SIAA
抗菌加工
JP0122452A0001S



香川大学校友会

検索